

曲突徒新

発行 松戸市松戸の2
558番地警察署内
千葉県松戸警察署防犯課
千葉県松戸警察署防犯課
047-369-0110
令和4年10月

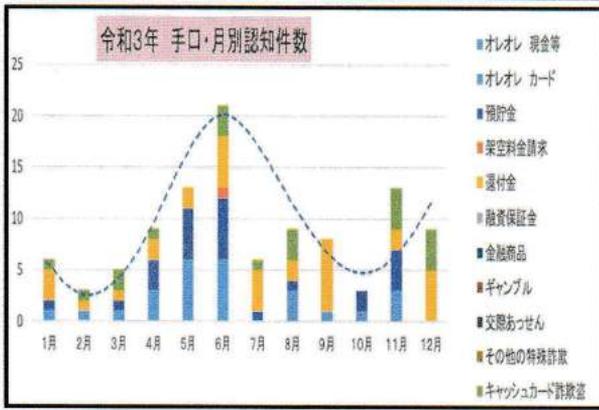
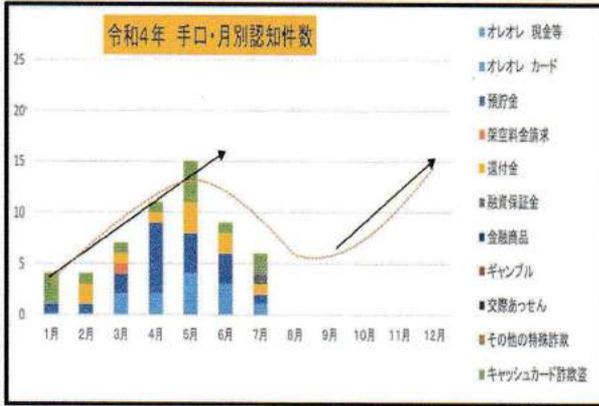
年末に詐欺被害が増加する!!

今年、県下で最も被害認知件数が多かった昨年と比較して減少している。昨年8月末で72件だった被害は、今年8月末で60件まで減った。しかし、右表を見比べると、増減時期が類似していることが分かる。増減時期の特徴は、

① 6月までに第1のピークがある。

② 夏頃に減少し、年末にかけて第2のピークがある。

今年、県下で最も被害認知件数が多かった昨年と比較して減少している。右表の「令和4年 手口・月別認知件数」にある赤い波線は、6月に修正した今年の増減予想線で、例年の類似した動きから、年末に増加することが予想される。黒色矢印は、増加傾向と期間を予想したものが、今年6月まで増加傾向が続き、減少に転じた。



詐欺電話撃退機器の働き



～詐欺電話撃退機器が詐欺を防ぐまでの流れ～

- ① 犯人が詐欺電話をかける。
- ② 被害者の電話が鳴る前に、撃退機器が犯人に警告した後、録音を開始する。
- ③ 犯人は、録音を嫌がり電話を切る。
- ④ 被害者は、詐欺電話を気にすることなく、撃退機器が詐欺から守ってくれる。

9月以降、12月までに第2のピークがあるだろう。被害認知件数の増減から、毎年、この時期に詐欺電話と被害の増加が予想できる。注意すべき犯人の活発な活動時期は「初夏」と「年末」だ。

皆様は詐欺被害に遭わないためにも、詐欺電話撃退機器や「迷惑電話防止機能付き電話機」を設置して被害を防止することを強く薦める。

それにしても、犯人も盆と正月に休んでいるのだな。

千葉県警察自動通話録音警告機器貸出事業及び松戸市撃退機器促進事業

千葉県警察では、電話d e詐欺対策として、固定電話機に取り付けられる撃退機器「自動通話録音警告機器」の貸出しを始めた。松戸署では、配分された20台を既に貸し出しており、来年も、再度貸出し予定だ。また、松戸市市民安全課

本誌は、松戸警察署管内金融機関防犯協会の出資により発行しています。(松戸警察署管内金融機関防犯協会：松戸警察署管内の金融機関からなる防犯ボランティア団体です。)

曲突徒新(きょくとつしん) 災難を未然に防ぐこと。煙突を曲げ、かまどの周りにある薪を他に移して、火事になるのを防ぐ意。(中国故事)

でも、新・電話d e詐欺撃退機器普及促進事業を実施しており、市がネコサポに業務委託し、年間4百台の機器を2千円で設置する。犯人は、録音を嫌がるため有効な対策とはいえ、被害抑止に効果的な機器である。

千葉県警察は、「ちば安心・安心メール」を配信し、犯罪発生情報や注意情報等を通知しています。お手元の携帯電話で左のQRコードを読み込むと登録できます。



振り込め詐欺 被害者の声

発行 千葉県警察本部
生活安全総務課
捜査第二課
平成二六年

気づいた時には

一〇〇万円が…
女性四三歳

「なぜ、あの時、夫に相談しなかつたんだろう。」今、私の気持ちは、騙されて悔しいという気持ちよりも、後悔の気持ちの方が勝っています。

振り込め詐欺は、テレビや新聞などによく出ていたので知っているつもりでした。しかし今考えてみると「私はまだ若いし、振り込め詐欺の電話が掛かってくることがなかつたし、電話が掛かってきても騙されな

めました。この時は「電車の中で、仕事の契約書、預金通帳、携帯電話が入ったバッグを無くしてしまった。携帯電話も入っていたので、見つかったときの連絡先は、私(被害者)の自宅にしてあるので、警察や駅の遺失物センターから電話があるかもしれない。」と言う内容で、お金を打診する話は一切ありませんでした。

その日の昼前までに何回かバッグが届いたかを確認する電話がありました。午前一時五十分ころ、「今日の午後二時半までに仕事の支払いがあるのでお金を貸してほしい。」

と云われたのです。義弟とは普段から仲が良く、今まで一度もお金の貸し借りなどしたこと無かつたし、兄嫁の私を頼ってきているので「何とか力になってあげたい。」と思

い、「二〇〇万円なら用意が出来る。」と答えたのです。義弟は「ありがとう。急いでお金を家に取りに行く。今隣に上司がいて、お礼を言いたいと言っているのだから上司に代わ

る。」と言うと、上司を名乗る男が電話口に出たのです。

上司を名乗る男は「今回の件で、私も両親に二〇〇万円を立て替えてもらいました。最近振り込め詐欺が多く発生しているみたいで、銀行は両親が振り込め詐欺に遭って

私に電話を掛けてきましたよ。病院の入院代などと言えば直ぐに下ろせると思います。怖い世の中ですね。」などとお金を下ろす時の理由を教えてくださいました。

野駅の遺失物センターから「バッグの落とし物が届いています。本人以外はお渡しできません。本人に取りに来るよ

う伝えて下さい。」との電話が掛かってきたので、義弟にバッグが届いたこととお金を用意できたことを伝えたのです。

義弟は「遺失物センターには俺がバッグを取りに行かないといけないから、お金は他の人に取りに行ってもらうね。今日借りるお金は、明日上司と一緒に返しに行くよ。」と言

ったので、私も「わかつた。」と了解したので、

そして、自宅近くのコンビニで、自営業の駐車で二エンスターの駐車で一〇〇万円を手渡したのです。お金の取りに来た男は、チンピラ風の男でしたが全く疑いを持つことはありませんでした。

翌日、義弟がお金を返しに来るのを待っていました。電話をしてみ

たところ「電話もしてないし、お金も借りてないよ。」と言われ、そこで初めて振り込め詐欺に

あつたことに気がついたので、私は、お金を相手に渡すまでの間、一度も疑うことはありませんでした。

今回掲載した「振り込め詐欺被害者の声」は、発行当時の詐欺の名称を使用しています。現在、千葉県では、振り込め詐欺を「電話de詐欺」と称して広報啓発活動をしています。

千葉県警察ホームページに、詐欺の犯人の音声を掲載しています。犯人が如何にして、皆さんを欺そうと

しているかを聞いてみませんか。

「チラからどうぞ。」

今年度の「曲突徒新」は令和4年5月、10月、令和5年2月に発行は予定です。

